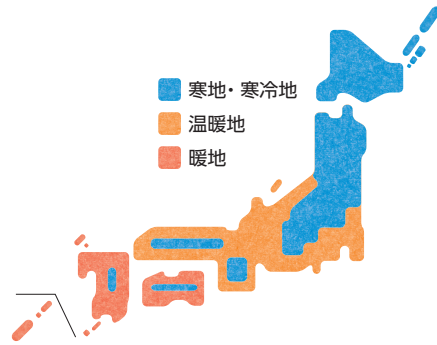


# さいばい 栽培ごよみ

栽培ごよみの生育適温や作業時期などを参考に、  
育成計画表を作成しましょう。

作業	●●●●	種のまきどき
	●●●●	植えつけ期
	—	収穫期(開花期)
	●●●●	低温処理



## ミニトマト

ナス科 ▶ p102



発芽適温(地温)	生育適温(気温)	株間	原産地											
25~30℃	23~28℃	50cm程度	南米											
作業時期		月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
寒地・寒冷地					●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●
温暖地					●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●
暖地					●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●

**栽培方法** ● 強い光を好み、多湿を嫌う。摘芽などを行うため、栽培には比較的時間がかかる。連作を嫌う。  
**目標例** ● 大きな実を収穫したい。→ 摘果で実の数を減らす。

## キュウリ

ウリ科



発芽適温(地温)	生育適温(気温)	株間	原産地											
25~30℃	25~28℃	50~60cm程度	インド(北部)											
作業時期		月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
寒地・寒冷地						●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●
温暖地						●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●
暖地						●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●

**栽培方法** ● 最盛期には朝夕の2回収穫。果実が大きくなりすぎないように毎日確認して収穫する。  
**目標例** ● 病気を防ぎたい。→ 多湿を避け、水はけをよくする。下葉をとって、風通しと日当たりをよくする。

## イチゴ

バラ科



発芽適温(地温)	生育適温(気温)	株間	原産地											
—	18~23℃	30cm程度	北米・南米											
作業時期		月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
寒地・寒冷地							●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●
温暖地							●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●
暖地							●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●

**栽培方法** ● 苗を購入して植える。夏の暑さと肥料のやり過ぎに弱い。  
**目標例** ● たくさん収穫したい。→ 日当たりをよくする。収穫の終わった苗を使わない。

## ナス

ナス科



発芽適温(地温)	生育適温(気温)	株間	原産地											
25~35℃	22~30℃	50cm程度	インド(南部)											
作業時期		月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
寒地・寒冷地							●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●
温暖地							●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●
暖地							●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●

**栽培方法** ● 収穫期間が長く温暖地で7~10月まで収穫できる。連作を嫌う。  
**目標例** ● 長い期間収穫したい。→ 夏に伸びすぎた枝や葉を切り取って、収穫を休む。

## ピーマン

ナス科



発芽適温(地温)	生育適温(気温)	株間	原産地											
25~30℃	23~28℃	40~50cm程度	中南米											
作業時期		月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
寒地・寒冷地								●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●
温暖地								●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●
暖地								●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●

**栽培方法** ● 肥料を適切に与えれば長くたくさん収穫できる。寒さには弱いので暖かくなってから定植する。連作を嫌う。  
**目標例** ● たくさん収穫したい。→ 肥料を適切に与え、乾燥させない。

果菜類(果実を食べる野菜)

● 寒い時期に栽培を行う場合には、保温や加温が必要となる作物があります。

### ミニダイコン

アブラナ科 ▶ p96



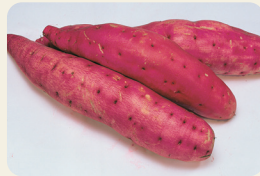
発芽適温(地温)	生育適温(気温)	株間	原産地											
15~30℃	20℃前後	20~30cm程度	地中海沿岸から中央アジア											
作業時期		月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
■ 寒地・寒冷地										●	●	●	●	●
■ 温暖地			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

**栽培方法** ● 春まきと秋まきが可能。2か月程度で収穫できる。

**目標例** ● 病気を防ぎたい。  
→ 多湿が病気の原因になることが多いので水はけのよい土でつくる。

### サツマイモ

ヒルガオ科



発芽適温(地温)	生育適温(気温)	株間	原産地											
—	22~30℃	30cm程度	中米から南米北部											
作業時期		月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
■ 寒地・寒冷地								●	●	●	●	●	●	●
■ 温暖地							●	●	●	●	●	●	●	●
■ 暖地							●	●	●	●	●	●	●	●

**栽培方法** ● 苗を購入して植える。連作障害がでにくい。肥料を与え過ぎるとイモが大きくなる。

**目標例** ● 大きく育てたい。  
→ つるから伸びる根を切り取り、つるから余分なイモができるのを防ぐ。

### ラディッシュ

アブラナ科



発芽適温(地温)	生育適温(気温)	株間	原産地											
15~25℃	15~20℃	4~5cm程度	地中海沿岸から中央アジア											
作業時期		月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
■ 寒地・寒冷地							●	●	●	●	●	●	●	●
■ 温暖地			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
■ 暖地			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

**栽培方法** ● かん水は、種が細かい場合、じょうろの先を上向きにするか霧吹きを使って、種が流れないようにする。

**目標例** ● 室内で栽培したい。→ 日当たりをよくする。

### リーフレタス

キク科



発芽適温(地温)	生育適温(気温)	株間	原産地											
18~25℃	18~22℃	20~25cm程度	中近東											
作業時期		月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
■ 寒地・寒冷地							●	●	●	●	●	●	●	●
■ 温暖地			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
■ 暖地			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

**栽培方法** ● 十分にかん水をして初期生育を進める。中心部の葉が伸び、株が盛り上がったら株ごと収穫する。

**目標例** ● 苦味をおさえたい。→ 寒さに当てる。成長しすぎないように注意する。

### ベビーリーフ★1

▶ p88



発芽適温(地温)	生育適温(気温)	株間	原産地											
アブラナ科では15~30℃が多い	アブラナ科では15~25℃が多い	—	ノザワナ・キョウナは日本、サントウサイは中国											
作業時期		月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
■ 一般地														

土耕栽培・養液栽培

**栽培方法** ● 培養土を利用した土耕栽培、培養液を利用した養液栽培が可能。

**目標例** ● 室内で育てて収穫したい。→ 日当たりのよい窓ぎわなどに置いて育てる。

### コマツナ

アブラナ科 ▶ p104



発芽適温(地温)	生育適温(気温)	株間	原産地											
15~30℃	15~25℃	3~5cm程度	地中海沿岸											
作業時期		月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
■ 寒地・寒冷地														
■ 温暖地			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
■ 暖地			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

**栽培方法** ● 夏の暑さに強く、ほぼ年間を通して栽培可能。連作障害が出にくい。

**目標例** ● 甘くしたい。→ 涼しい時期のほうが甘く育つため、秋に種まきをする。

★1 発芽後30日ほどの野菜やハーブなどの若い葉。ノザワナ・キョウナ・サントウサイはアブラナ科。

### ダイズ(エダマメ)

マメ科



※エダマメはダイズを若いうちに収穫したもの。

発芽適温(地温)	生育適温(気温)	株間	原産地											
25~30℃	20~25℃	20~25cm程度	中国											
作業時期		月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
■ 寒地・寒冷地							●	●	●	●	●	●	●	●
■ 温暖地(早まきは保温・育苗)							●	●	●	●	●	●	●	●
■ 暖地(早まきは保温・育苗)							●	●	●	●	●	●	●	●

**栽培方法** ● 開花期は、十分にかん水をし、強い乾燥を避ける。収穫は開花の30~40日後に実の厚みで判断する。

**目標例** ● 病気を防ぎたい。  
→葉の茂りすぎに注意、過湿、連作を避ける。

### イネ

イネ科



発芽適温(地温)	生育適温(気温)	株間	原産地											
30~34℃	24~28℃	30cm程度	中国南部からインド(東部)											
作業時期		月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
■ 温暖地						●	●	●	●	●	●	●	●	●

**栽培方法** ● 水田で栽培できない場合は、バケツなどの容器でも栽培できる。

**目標例** ● 倒れないように育てたい。→7月中旬に3日くらい乾燥させる中干しという作業をする。葉がしおれないように注意。

### トウモロコシ(スイートコーン)

イネ科



発芽適温(地温)	生育適温(気温)	株間	原産地											
25~30℃	20~30℃	30cm程度	中南米											
作業時期		月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
■ 寒地・寒冷地						●	●	●	●	●	●	●	●	●
■ 温暖地						●	●	●	●	●	●	●	●	●
■ 暖地						●	●	●	●	●	●	●	●	●

**栽培方法** ● 乾燥も過湿も嫌うので、適なかん水が大切。丈夫で成長は早い。

**目標例** ● プランターで育てたい。→深いプランターで育てる。

### パンジー

スミレ科

▶ p104



発芽適温(地温)	生育適温(気温)	株間	原産地											
17~25℃	10~20℃	10~20cm程度	—											
作業時期		月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
■ 寒地・寒冷地						●	●	●	●	●	●	●	●	●
■ 温暖地						●	●	●	●	●	●	●	●	●
■ 暖地						●	●	●	●	●	●	●	●	●

**栽培方法** ● 日当たりと水はけのよい環境を好む。種まきは、日陰で涼しく、風通しのよい場所で行う。丈夫で育てやすい。

**目標例** ● 長く楽しみたい。  
→咲き終わった花をこまめに摘むとよい。

### チューリップ

ユリ科

▶ p104



発芽適温(地温)	生育適温(気温)	株間	原産地											
9~14℃	14~25℃	10~15cm程度	中央アジアから中近東											
作業時期		月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
■ 寒地・寒冷地														
■ 温暖地														
■ 暖地														
■ 低温処理栽培														

**栽培方法** ● 球根から育てる。低温処理による促成栽培が可能。

**目標例** ● 卒業式に咲かせたい。→球根を冷蔵庫で10月から2か月程度低温処理を行った後、植えつけると早く咲く。

### 小ギク

キク科



発芽適温(地温)	生育適温(気温)	株間	原産地											
15~20℃	15~25℃	30cm程度	中国											
作業時期		月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
■ 温暖地														

**栽培方法** ● 日当たりと水はけのよい環境を好む。開花中は十分にかん水をする。

**目標例** ● 花を多く咲かせたい。→摘しんを行い、わき芽をふやす。

★1 キクは、葉や茎を土などにさして根を出させるさし芽という方法でふやすことができる。